

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

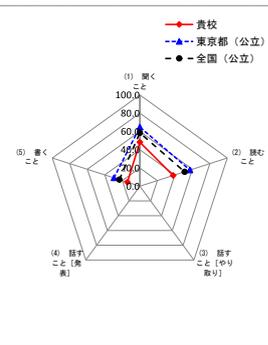
※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立鹿本中学校	東京都（公立）	全国（公立）
		132	71,486	893,528

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		17	35	52	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	48.2	64.7	58.4
	(2) 読むこと	6	38.1	57.2	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	0			
	(4) 話すこと [発表]	0			
	(5) 書くこと	5	14.2	29.6	23.4
評価の観点	知識・技能	9	37.9	57.9	51.5
	思考・判断・表現	8	31.1	44.8	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	43.2	61.0	54.8
	短答式	3	18.4	37.6	30.1
	記述式	2	8.0	17.6	13.5

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



現状把握(調査問題から見た課題)

- ・全国、都の正答率を比較すると、どちらもすべての領域で下回っている。
- ・学習指導要領の領域でも「読むこと」の正答率から、基礎・基本的な知識・技能の定着が必要である。
- ・選択式問題の正答率から、文の内容から状況や場面、概要の理解が不十分と考えられる。

指導改善のポイント

- ・授業時に取り扱う本文のリスニングやリスニングテストから筆記に関する独自の問題を頻繁に出題し、定着を図る。
- ・授業時で扱う本文で状況や場面を想定させ、その本文に関する概要を意識させる取り組みを行う。
- ・授業時に取り組んでいるクエスチョンリストやスモールトークをより多く行い、その活動から書くことにつなげる活動を今以上に行う。